

な わ し ょ う つ う し ん

# 暁小通信

令和7年度 第14号  
令和8年 2月 5日発行  
四條暁市立四條暁小学校  
校長 香村 紀子



## 『おに～外。福は～内。』

がつ にち せつぶん せつぶん じ きせつ わ いみ にほん  
2月3日は節分でした。節分は字のとおり「季節を分ける」という意味です。日本の

むかし こよみ しゅんかしゅうとう きせつ わ いみ いちねん かい せつぶん いま  
昔の暦で、春夏秋冬4つの季節を分けることを意味し、一年に4回の節分があったと言われています。今  
では、旧暦でいう一年の始まり「立春」の前日が「節分」という伝統行事となっています。

ここで言われる「鬼」は実在するわけではなく、空想の存在を表しているのでもありません。病気・災害・  
ひと こころ よわ め み わる しょうちよう い じぶん なか わる うんき おに そと  
人の心の弱さなど、目に見えない悪いものの象徴を言うようです。自分の中にある悪い運気を鬼として外  
においだし、よい運気を招き入れる、という意味の「鬼は外、福は内」。みんなの中の鬼は追い出せたかな？  
きっとよい運気がやってきているはず！

げんじつ  
現実はそのないうまくはいかないことが多いですが、こんな機会に自分を見つめなおし、がんばっている  
じぶん すこ じぶん はげ うんき たす せいちょう  
自分ともう少しがんばれそうな自分を、ほめたり励ましたりし、「よい運気」に助けてもらいながら、成長でき  
ることを楽しみに一歩ずつ進んでいきたいです。「鬼は外、福は内」。

ちなみに、昨日2月4日(水)の給食は「せつぶんこんだて」でした。

メニューは、  
「ごはん のむヨーグルト あかだし イワシフライ  
きなこまめ」。

こんなふうには、給食献立でも季節や伝統行事を  
かん 感じられるよう工夫されています。

もしかすると子どもたちにとっては苦手かもしれ  
ない魚も、給食だと案外食べるんです。きなこま  
めも喜んで食べていました。



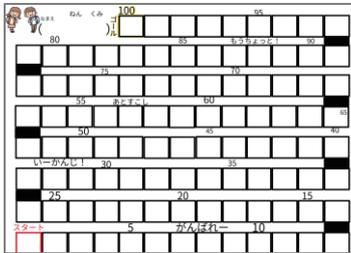
# あいさつキャンペーン 実施中!

生活委員会が企画し実施しているあいさつキャンペーン。

おはようございます!!



チェックカードを持って、校内であいさつする子どもたちの姿がみられます(2週目になって少し落ち着いてしまっていないかと心配していますが...)。あいさつをした人からサインをもらい、集める、という取り組みです。はじめは、お昼休みに出会っても「おはようございます。」なんてあいさつが聞かれることがありましたが、そのたびに「今は12時過ぎてるけど...」という「あ!こんにちは、やん。」と言った話になります。校長室を訪ねてきてあいさつをする子たちも少なくありませんが、「明日の朝、校門で会ったときもあいさつしてや!」と声をかけています。時には、学校に来てくださった教育委員会の方や、PTA会長さんにもあいさつしてサインを求める姿も見られて、そのたくましさに関心することもあります。



朝、校門で立っていると、週のはじめの「おはよう」は少なめ。しかも元気も少なめ。大人も「ふう。」なんてため息をつく週明けもあるので、気持ちは少しわかるかな。でも週の終わりが近づくと、「おはよう」が増えていき、元気も少々増えていきま

す。気持ちが表れすぎない朝のあいさつです。ただ、あんまりにも「おはよう」が少ないと残念な気持ちになるのも本当のことです。もっと元気な「おはよう」がたくさん聞ける朝になるといいなあ。

おはよう こんにちは ありがとう さようなら いってきます いただきます いただきます

## ～あいさつエピソード～

ずいぶん前のことです。ある学校で「山のぼり」を、全校児童で行うという行事がありました。学校のすぐ裏にある山で、登山する方々には有名な山でした。

子どもたちが列をなして山道を登っていくと、登山客の方は当たり前のように「こんにちは～」と声をかけて道を下りて行かれるのです。「すてきな方だなあ。こんなふう子どもたちにあいさつしながら歩いていらっやるなんて。」とうれしい気分です。歩いていくと、また違う登山客の方が前の方と同じように「こんにちは～、がんばってねえ。」と子どもたちに声をかけながら山を下りて行かれます。そのあとも、すれ違う方がみんな、声をかけてくださるのです。一人で感動していると、ある先生が「これは、山を登る人どうしの常識やで。知らない人とすれ違う時お互いにあいさつするねん、山登りの人たちって。」と教えてくれました。実は私はあまり自分から声をかけるのが得意でなかったもので、学校以外で自分からあいさつすることはしないことの方が多かったのです。けれどあの日、子どもたちと山登りをしながら、とてもうれしい気持ちになったことであいさつの素敵さを実感したのです。それからは、できる限りいろんな人に自分からあいさつしたり声をかけたりするように心がけるようになっています。

たかがあいさつ。されどあいさつ。今回のあいさつキャンペーンの取り組みをきっかけに、躰小の子どもたちの元気なあいさつが、学校中にあふれていくと嬉しいなあ、と期待しています。